

横浜の未来を
結ぶ会

2015年3月号 vol.17
市政報告書

横浜市議員（維新の党）

木下よしひろ 市政レポート



発行：木下よしひろ政務調査事務所 <http://www.kinoss.jp/>

第1回定例会で、林市長に質問

平成27年2月10日、第1回定例会において現年度（26年度）に関わる議案関連質問のため、会派を代表して登壇しました。3連続で本会議で質問することになります。

昨年の第4回の一般質問とは異なり市当局が上程した議案に関して、質問しました。大項目は市第170号議案 横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定、市第171号議案 第3期横浜市障害者プランの策定、市第172号議案 第6期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定、市第179号議案 横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例の一部改正、市第203号議案平成26年度横浜市一般会計補正予算（第5号）の5つです。

その中で市第172号議案第6期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の質問2問を掲載いたします。以下質問要旨です。

厚生労働省や各種統計資料も、65歳以上を高齢者として分類している。しかし、平成24年9月7日閣議決定された、内閣府資料「高齢社会対策大綱」によれば、「人生90年時代」を前提とした仕組みに転換させる必要がある。」ことが大綱策定の目的でうたわれている。

1 高齢者が65歳以上とされていることについての市長の所感

次に、地域では自治会町内会などの活動の担い手は高齢化が進んでいる。最近のいわゆる高齢者は健康づくりへの関心も高く運動や社会参加にも意欲的だと言いますが、その逆のケースもあるかもしれない。「高齢社会対策大綱」の「基本的な考え方」では「生涯にわたって就業その他の多様な社会的活動に参加する機会が確保される公正で活力ある社会」の構築に向けた考えが示されている。

2 基本目標における生涯現役社会の実現に向けた考え方

その他の質問として全体を通して、ワークライフバランスの推進や、ユニバーサルデザインの推進によって、女性、障害者、高齢者にとってそれぞれ生活しやすい・学びやすい・社会生活に参加しやすい社会は誰にとっても暮らしやすい社会ではないか？という趣旨でまとめさせていただきました。

質問全文や常任委員会の質疑内容は議会局のHPでもご覧いただけます。



会派のホームページ（下記）でも引き続き、中学校給食のアンケート調査を行っています。

<http://will-yokohama.jp/info/5315>

木下よしひろのプロフィール

1977年12月21日生まれ。37歳。178cm
横浜市立幸ヶ谷小学校卒業／横浜市立栗田谷中学校卒業
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業／東京学芸大学教育学部卒業
東京学芸大学大学院修了（教育学修士）

【職歴】

横浜市立中学校講師／横浜市立中学校事務主事
横浜市立小学校事務主事／横浜市立中学校教諭
2011年4月 横浜市議員初当選
横浜の未来を結ぶ会所属／水道・交通副委員長
大都市行財制度特別委員／神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員
趣味：サッカー、テニス、卓球
好きな食べ物：チーズケーキ、ままだおる